



2017年7月26日

## 「CSRコミュニケーションレポート2017」の開示

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、「CSRコミュニケーションレポート2017」を開示しました。

### 1. 「CSRコミュニケーションレポート2017」の概要

本レポートは、SOMPOホールディングスグループのCSR経営ビジョン、方針、計画や活動進捗を報告し、取組みを継続的に向上させるためのコミュニケーション・ツールです。

#### (1) 「CSRコミュニケーションレポート2017」の特徴

##### ①CSRを通じた企業価値向上に向けた取組み

トップコミットメントでは、グループCEO取締役社長の櫻田 謙悟が最高意思決定者として、企業価値向上に向けた取組みや、これからの成長ストーリーなどを述べています。また、サステナブルな社会とグループの成長を実現する価値創造プロセスを示しています。

##### ②「持続可能な開発目標（SDGs）」への取組み

2015年9月に国連サミットにて採択された、「持続可能な開発目標（SDGs）」についてSOMPOホールディングスグループの取組みや、市民セクター代表であるI I HOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人の川北 秀人氏と、経団連企業行動・CSR委員長 / 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 取締役会長の二宮 雅也の対談を掲載しています。

##### ③社会の最新動向やSOMPOホールディングスグループの特徴を活かした3つの「特集」

深刻化する「気候変動」問題に関する取組みについて、また、「安心・安全・健康のテーマパーク」へのトランスフォーメーションを通じた新たな価値創造に寄与する「介護・ヘルスケア」「デジタル戦略」について特集を設けています。

##### ④ステークホルダー・エンゲージメントを通じた取組み

SOMPOホールディングスグループは、多様なステークホルダーとのコミュニケーションが、社会的課題を認識し、信頼関係と協働関係を構築し、より大きな成果を生み出すための重要な取組みであると考えています。

本レポートでは、2016年4月に公表した、グループCSR重点課題の見直しのプロセスで、ステークホルダーの皆さまからいただいたご意見に対する進捗や課題を報告し、また、有識者との対談など報告しています。

##### ⑤情報開示の信頼性向上に向けた取組み

SOMPOホールディングスは情報開示に際しさまざまな国際的ガイドラインを参考としており、

特に本レポートは、GRI (Global Reporting Initiative) スタンドダードの中核 (Core) オプションに準拠して作成されています。

また、SOMPOホールディングスでは、CSRに関する報告書の第三者意見の取組みが一般的ではなかった2001年度から、IHOEの川北氏から「第三者意見」をいただき、継続的な取組みの向上につなげています。第三者意見を執筆いただくにあたっては、主要部門へのヒアリングも実施し、SOMPOホールディングスのCSRの取組みを包括的かつ詳細に把握いただいています。また、2012年度からは温室効果ガス (GHG) の排出量について第三者機関による保証を受け、年々その対象となるグループ会社の範囲を拡大するとともに、2016年度は欠勤による総損失日数についても保証を受け、透明性の高い情報開示に努めています。

## (2) 発行形態

アクセシビリティの改善を目指し、ホームページ「CSR」での開示を中心とします。

## 2. 閲覧方法

SOMPOホールディングスのホームページからご覧いただけます。なお、英語版は9月上旬に公表予定です。

URL : <http://www.sompo-hd.com/csr/>



以上